

（公社）日本給食サーブス協会会長賞

『大好きな給食』

福島県いわき市立郷ヶ丘小学校 四年 女子 内田 夏海

私は給食が大好きです。こんだて表を見ながら、大好きなおかずや楽しみなメニューの時には、メーカーペンで色をぬって、カレンダーに大きく書いておきます。その日が来ると、朝から給食の時間がとても待ちどおしいです。

東日本大しん災の後、ふつうの給食が食べられない日が続きました。大きなよしんも何度もあって、不安な毎日でした。いわき市の給食センターも、とても大きなひがいを受けたと知りました。パンと牛乳だけの給食がしばらく続いて、悲しい気持ちになりました。たまにハンバーグなどのおかずが出る様になると、とてもうれしくて、今までと同じおかずでも特別なごちそうのように感じられました。

地しんの前は、食べ物や飲み物がいつでもそこにあるのが当たり前だと思っていました。のどがかわいたり、おなかがいすいたりしたら、いつでも買えると思っていました。でも、地しんの後、水道が止まったり、お店がしまったりして、それは当たり前ではなかったと思いました。原発事こもあったので、野菜を作る農家の人や、魚を取る漁しさんは、今までよりもつとがんばっているのだと知りました。

地しんの前は、給食に苦手なおかずが出るとのこしていました。でも、地しんの後は、ちゃんとしたおかずが出る事がとてもうれしくて、あまり給食をのこさなくなりました。今は前よりもつと給食を大切に感じる様になりました。

最近、私はお母さんのお手伝いをよくする様にしています。お母さんは、毎日ちがうメニューを考えて、食材を選んで、家族のけんこうを考えています。私の家は三人家族ですが、お母さんは毎日のメニューを考えるのにねたがつかたとこまっています。テレビの料理番組やぎっしなどを見て、新しいじようほうをしいれています。給食のメニューをさんこうにする事もよくあるそうです。学校から帰ると、私もその日の給食の事についてよく話しをします。三人家族のお母さんでもこまるのに、給食センターの方達はとても大人数のメニューを考えたり、毎日調理したりするなんて、本当にすごいと思います。食材をかくほするものとても大変だろうなあと思いますが。初めて食べる料理や、ご汁やチリコンカンなどのめずらしいメニューなど、給食はとも工夫されている事が分かります。私も苦手だった食材が給食で食べられる様になった事があります。これからも変わったこんだてやおもしろいメニューが給食に登場するのをとても楽しみにしています。

私達の給食にたずさわっているすべてのみなさん、いつも本当にありがとうございます。

これからも、おいしく楽しく、感しやの気持ちをわすれることなく、毎日のこさず給食を食べ続けたいです。